

読書の楽しさを伝える 10 の言葉。会話がはずむ読書支援ツール

どんどん本が読みたくなる『創造性を育む 本の楽しみかたカード』を発売

～ 4月25日(月)、有隣堂全店、PayPayモールで展開開始 ～

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：松信 健太郎）はこのたび、もっと読書の楽しさを伝えるため慶應義塾大学SFC 井庭 崇 研究室と共同開発し、小学生から使える読書支援ツール『創造性を育む 本の楽しみかたカード』を有隣堂全店およびオンラインストア「PayPayモール」にて4月25日(月)より発売いたします。改革の進む教育現場で、需要の高まる思考型・対話型の授業プログラム等にも役立つツールとして、今後は学校や図書館、書店を中心にワークショップや体験会を提案してまいります。

■ 『創造性を育む 本の楽しみかたカード』とは

本は、自分らしい創造的な人生を歩むための豊かな土壌を作るとき心の栄養となり、自己成長の助けとなります。そして個人の成長が地域社会・文化の成長につながります。本をもっと身近に、読書を楽しんでもらいたいとの思いから開発されたカードです。『創造性を育む 本の楽しみかたカード』は、本と出会い、読みかたを知り、読書を日常生活に取り入れるヒントを子どもにも分かりやすい 10 の言葉(パターン・ランゲージ)にまとめています。カードを使うと自然に会話がはずみ、読書することがワクワク体験につながります。

カードとセットとなるガイドブックには、井庭崇教授のメッセージ、カードの解説、授業やワークショップの進め方例を掲載し、実践に役立つ情報を全 32 ページカラーで紹介しています。



- ・商品名 『創造性を育む 本の楽しみかたカード』
- ・共同開発：慶應義塾大学 SFC 井庭 崇 研究室
- ・イラスト：井庭 崇
- ・セット内容：
 - カード 11 枚(表紙 1 枚、パターンカード 10 枚)
 - ガイドブック(カラー32 ページ)
 - ポスター1 枚
- ・定価：1,320 円(税込)
- ・販売店舗：有隣堂全 35 店舗
(横浜駅西口エキニア横浜店、横浜駅西口コミック王国、戸塚駅地下売店除く)
- ・オンラインストア：[PayPay モール](#)

カードを使う効能・効果

- ・本との出会いかた・いろいろな読みかた
楽しみかたを知る
- ・読書の幅を広げる
- ・自分の気持ちや考えを話し、聞いてもらう喜びを知る
- ・対話を通して多様な価値観、新しい気づきを得る
- ・知的好奇心を満たすための次の行動につなげられる



■ 今後の展開

授業プログラムなどに役立つツールとして、学校や図書館、書店を中心に出張ワークショップや体験会イベント等を積極的に提案・開催してまいります。



< ワークショップ開催情報 >

「本の楽しみかたカード」を使って本の話しよう！

【日時】 2022年4月29日（金・祝）14時から15時

【会場】 小田原駅東口図書館

【対象】 小学生

【定員】 先着15人

【申込】 図書館総合カウンターまたは電話
(0465-20-5577) にて受付

<https://ohigashi-lib.jp/archive/#post-1290>

< 対話のワークショップ開催事例 >

事例紹介の動画をご覧ください

<https://www.youtube.com/watch?v=6BmSsOKZBTY>

■ 開発の経緯

近年の読書量の減少に問題意識を持ち、直接的に本を薦めるだけでなく、読書という行為そのものに興味を持たせることが必要だと考え、慶應義塾大学 SFC 井庭 崇 研究室とパターン・ランゲージ手法を用いて最初に共同開発されたのが、2017 年に発表した読書のコツを 27 の言葉にまとめた『Life with Reading - 読書の秘訣カード』です。読書をより楽しむためのアプローチとして活用が広がる中、教育・図書館関係者からの、「もっとやさしい言葉で、子どもにも使えるカードを」との要望に応えるため、今回こども版「読書の秘訣カード」として『創造性を育む 本の楽しみかたカード』を制作いたしました。

『Life with Reading - 読書の秘訣カード』について詳しくはこちら → <https://www.yurindo.co.jp/storeguide/62783>

■ 共同開発者 紹介



井庭 崇（いば たかし）氏

慶應義塾大学総合政策学部教授

1974 年生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、同大学大学院政策・メディア研究科博士課程修了。博士（政策・メディア）。

専門は、創造実践学、パターン・ランゲージ、システム理論。著書多数。